



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第361号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

一 教皇フランシスコ父の日のメッセージ

誰にでも欠点があり、不安があり、怒りがあります。ですが貴方の人生はこの世界で掛け替えの無い作品である事を忘れないで下さい。貴方だけがそれを大切に守れるのです。

多くの方が貴方に感謝し、賞賛し、そして大切にしてくれるかもしれません。ですが幸せとは嵐の無い晴れ空ではありません。事故の無い道路ではありません。疲れを知らずに働き続ける事ではありません。落胆する事のない境遇ではありません。幸せとは許す事に力を見いだす事であり、混乱のなかに希望を見いだす事であり、恐れの中にあっても平穏を見いだす事であり、不和喧騒の中でも愛を見いだす事です。それは喜びを良しとするだけでなく、悲しみを乗り越えて行く事です。それは成功を祝うだけではありません。失敗や挫折からも学ぶものを得ます。それは貴方が拍手喝采に浴した時に感じるだけのものではありません。誰にも気づかれず、密やかに自分自身の中で感じるものです。幸せは決して貴方の境遇が当然にもたらすものではありません。自分の中にそれを見出そうと不断に努力する人のその努力の賜物です。それは境遇からの犠牲者意識を捨て去って、貴方自身が自分の境遇の作り手となる事です。それは砂漠をさまよっていても心の奥底にオアシスを見出すようなものです。それは毎朝、

人生を通じて与えられる様々な恵みに対し主に感謝することです。

幸せとは貴方の真実の姿に恐れを抱くのではなく、貴方自身を他者に示す事です。それは「ノー」と言われる事を恐れない勇気を持つ事です。不正な非難の矢面にあってさえ自信を持つ事です。それは、子供に愛の口づけを贈ったり、親を慈しんだり、貴方を傷つける友人とさえ抒情詩的美しい時を過ごす事です。幸せとは私達一人一人の有りのままの自分を、何ものにも囚われず、喜びの内にシンプルに生きる事です。それは、「過ちを犯しました」と言える円熟味を持つ事です。「ご免なさい」と言える勇気を持つ事です。「貴方を必要としています」と言える感性を持つ事です。「貴方を愛しています」と言えるようになる事です。

貴方の人生が、春には喜びを愛で、冬には知恵を愛し、幸せをもたらすあらゆる可能性の花園となりますように……。間違った選択をしたと思ったら、最初から遣り直して下さい。その様にして始めて、貴方は自分の

熊本支援ボランティア	2・3面
小教区委員会報告	4面
白濱司教講話	5面
沖縄をたずねて	6面
教会学校・短歌	7面
お知らせ・幼稚園から	8面

人生を愛する事ができるでしょう。幸せと完璧な人生とは別物である事を知りましょう。貴方の涙を、寛大さを育む泉として下さい。失敗を、忍耐を養う機会にして下さい。過ちを、おだやかさを培う材料として下さい。

苦痛は喜びを身に纏うしゅくいに、困難はより深き知恵への窓口として下さい。絶対に

諦めないで下さい。貴方を愛している人々に
対し絶対に諦めないで下さい。幸せの追求を
絶対に諦めないで下さい。人生は驚きに満ち
た劇場です。

※すばらしい話をいただきました。実行し
ましょう！！(マヘル神父)



熊本支援ボランティア(2017年6月)報告

海老津地区 山口一隆

水巻教会宣教委員会の活動として熊本支援に6月10,11日の両日行ってきました。メンバーはリーダーの川島晋二さん、松尾隆さん、秦野靖浩さん、私、それに川島さんのお孫さん、優也君(高1)の5人。

メンバー行は前日の9日夕方出発、宿泊地である菊池教会に8時30分頃到着しました。

翌10日、菊池教会が用意して下さった美味しい朝食を食べた後、この日の支援母体である「支援のわ」がある西原村へ出発。早めに着いた集合地で地震の被害跡を眺めながら各地から集まる支援者を待ちました。この日集まった支援者は遠くは東京から近くは熊本市内から集まった31名。「支援のわ」でも、これほど多くの支援者が集まったのは初めてと喜びました。ここで、水巻教会で募った支援金59,015円を渡しました。

「支援のわ」主催者である堀内さんから本日の支援地、支援内容の説明を受けました。この日は町営キャンプ場「風のさと」の施設内部に残った備品の移動と仕分け、という事でした。作業内容から31名でも人手不足ということで、地元の支援団体「もやいの里」へ向かいました。ここで小学生を含む20名近くの支援者と合流、総勢50名での作業となりました。

「もやいの里」主催のトムさんから注意事項などの説明を受けた後、早速、町営キャンプ場「風のさと」に移動、現地で作業の振り分けが行われました。

大型トラックの運転ができる川島さんは、管理棟に残る家電製品、机、ロッカーなどを移動させるため現地に残り、残り四名は、布団類、リネン類の整理と仕分けをするために、西原村のスポーツセンターで作業を行うことになりました。

早速作業です。スポーツセンターへ向かうトラックが3台、川島さんが運転する現地移動のトラックが一台。それぞれ荷物を満載にします。その後、我々4人を含む数名がスポーツセンターへ移動、布団、敷布団、毛布、敷布など、仕分けしながら整理していきます。広いセンターの中の一画に移動させ積み上げていくのです。最後に管理棟にあったガストーブ

十数台も搬入されました。ここで活躍したのが優也くん。細いのに力があって、大人2人分の活躍でした。シニア3人は傍らでゼーゼーの体たらく「若いって、いいなあー」。

お昼は「もやいの里」に戻って地元婦人会の方々が作ってくださった地元飯を腹いっぱい頂きました。(美味かったー)午後からの作業は「風のさと」で川島さんと合流椅子や事務機器運びにひと汗かきました。その後4人はセンターに戻れという指令を受けセンターへ。ここでもひと汗かいて作業終了。

翌11日は、菊池教会で御ミサを授かり、西原村へ。「支援のわ」の堀内さんから「今日の作業は、田植えです。機械植の後の補植作業なので簡単」との説明でした。聞くと田んぼは1反2畝ほどで、ここから100俵程のコメが収穫できるとのこと。これを販売して熊本支援に充てるということでした。堀内さんの配慮で、同じカトリック教会なので作業を配置してくださったとか(感謝)。

場所は「白糸の滝地区」で、少し行けば「白糸の滝」が見れるところ。

この日、集まったのは光が丘、浄水通り、大名など5小教区50人、熊本からは手取教会など20数名、そして北九州の水巻教会から5名参加、総勢80名が集いました。最初は機械植の補植作業と聞いていましたが、参加者多数のため機械植えを止め、全部手植えでの作業となりました。人数は多いのですが、田植えは初めてという人が多く、最初は意気が揃わず、ひと植するのも大変。バベルの塔の再現かと疑うばかりでした(笑)。それでも少しずつ息も揃い一時間ほどで作業は終了。どろんこの足を洗う頃には皆打ち解けて各所で談笑が見られました。とても楽しい分かち合いでした。

小教区活動としてボランティア活動はこれからも続けます。今後とも宜しくお願い致します。



委員会等報告

2017年6月分

6月度小教区委員会

6月4日

1. 行事予定

- ・7月 2日(日) 小教区委員会
- ・7月 9日(日) 大人の日曜学校
- ・7月 15日(土) 聖母幼稚園の納涼祭
17:00~19:30

2. 議事

(1) 聖母幼稚園 納涼祭への協力について
・園児と信徒のふれあいを深めることを主目的とし、できる範囲で協力していくこととします。

- ・7月15日(土) 17:00~19:30
水巻教会として、かき氷を手伝います。
- ・かき氷、ポップコーンの販売のほか、スーパーボールすくい、コイン落とし、玉落とし、輪投げ、腕相撲大会、福引大会と楽しい催し盛りだくさんです。是非、ご参加ください。

(2) 教会学校ファミリーキャンプ

- ・7月23日(日)に実施予定。

大人の参加も歓迎します。子供が少ないので、皆で盛り上げましょう。

(3) 聖堂のエアコン取替えについて

・聖堂のエアコンを8台更新することとしました。また、信徒会館のエアコン4台も合わせて更新します。費用320万円(税別)は特別営繕献金(旧駐車場献金)から支払います。

(4) 納骨堂のシリンダー錠、蝶番の更新
・納骨堂のシリンダー錠と蝶番の腐食が見られるため、全数、ステンレス製のものに更新することとしました。費用57万円は納骨堂献金(営繕積立)から支払います。

(5) 司祭館移設について

- ・5月31日の締切りまでに企業主導型保育事業への申請を終えました。審査には2.5ヶ月かかる見込みとのこと。水巻小教区の発展のため、申請が受理されるようお祈りください。
- ・司祭館の移設については、引き続き、しっかりと議論を重ねていきたいと思っております。

《聖母像の祝別式》

幼稚園の東側に聖母像が建立され、6月18日に祝別式を執り行いました。



北九州信徒使徒職協議会 2016年度 典礼研修会 於、小倉教会
 広島教区 白浜司教の講話

まず、先月のからしだねにおける当黙想会の2回目の記録で、表記に「教区研修会、於大名教会」となっていました。上記の間違いです。

これまでに掲載できなかった、白浜司教様の用意されたレジュメにありましたミサの構造とその関連、を表した表を提示します。

ミサの構造	イエスの生涯	私たちとの関わり
準備	ナザレでの生活	日常生活における奉仕
A-開祭	ナザレから離れる 宣教生活への準備 ・ヨルダン川での洗礼 ・荒野における祈りと断食	日常生活から離れる イエスとの出会いの準備 ・イエスとの出会いの基礎(洗礼) ・新しい人になるための回心
B-ことばの典礼	宣教生活	神の言葉による内的な変容
C-感謝の典礼	最後の晩餐 十字架上での死 (御父への奉献) 復活	イエスの過越(死から復活)に預かるイエスの体による命の変容 ・一人として ・教会共同体として
D-閉祭	昇天(弟子たちの派遣)	変容された者として派遣される ・イエスの体の肢体 ・社会の変容(福音化)のため

表の最左列と中央列が示す様に、まず、ミサの流れはイエスの全生涯の基本を表しています。これらミサの部分部分に即して、またイエスの生涯に即して、愛の掟に生きるべき私たちの生活の指針を書くことができます。(最右列)



沖縄をたずねて

橋本富美

キリスト教礼拝音楽学会の会員になっていつの間にか、10年余り経ちます。今年は沖縄で年に一度の大会がありました。私は沖縄に行ったことがなかったので、思い切って参加してみました。新垣先生からの勧めもあり、どんなものかと思って参加したのですが、私が思うより深い論文発表で、感動しました。琉球讃美歌が創られたのは1906年ごろベッテルハイム、シュワルツ、新垣信一及び南洋伝道帰郷後の人たちでした。ベッテルハイムは、聖書及び讃美歌を琉球語に訳し、和語表記で直接宣教活動を行おうとしたが、禁制でその目的を果たすことが出来なかった。若い農村生まれの新垣信一が琉球語に訳し、和語表を記して琉球語で伝道活動を行い、又、農村伝道所において礼拝の讃美として使用し、それらが琉球人の心に触れ、広く各地に伝えられた。(琉球語讃美歌史・手代木俊一・仲座巖より)

このように、あまり良く解らない琉球語で讃美歌を歌っていた時代があり、現代まで伝承され世俗的に音楽として祈りの歌として歌われていることを、4つのグループが礼拝堂の中で発表し、歌って頂きました。現代では礼拝に使われることは殆んどないそうですが、特別集会などに歌われているそうです。

学会が朝からあるので、前日より沖縄に行きました。そのため時間が取れたので、首里城公園を訪れました。500年余りの歴史を誇る琉球王朝のシンボル。琉球王朝は中国や朝鮮など諸外国との外交・貿易などを通して発展してきたが、その政務や儀式・文化の中心となったのが、首里城です。

この首里城は過去に戦火にも見舞われ、合計4回も建て替えられたそうです。戦争中、お城の地下に軍の司令部があり、それに目がけて爆撃されひとたまりもなかったそうです。ここでも戦争の悲惨さを味わいました。

学会の次の日、日曜日のミサを、新垣先生・広島の観音町教会の林さんと共にカトリック安里教会で預かりました。マリア様の祈りから、今日の聖歌の説明練習などが行われ、ミサが始まりました。

この日は丁度シュガーローフ安里52高地の戦いがあった日でした。教会の裏山に慰霊碑があり、慰霊祭を行う予定でしたが、雨天のため教会の中で祈りが行われました。死者は、2,662人と伝えられているそうです。

私は飛行機の時間のため、みなさんと祈ることが出来ませんでした。本当に祈ることを深く考えさせられた旅でした。

今からも平和の世の中でありませうように。お互いに、愛し合えますように。労わり合えますように。

シャローム



教会学校のページ



5月28日

出席者 山田蓮くん

マタイによる福音 28 章 16 節から 20 節を聖書からひらき音読しました。

今日は、イエス様が死から復活して天に昇られた日。天の神様のところへ帰って行かれたこととお祝いする日です。イエス様は天に帰られて私たちから離れてしまった印象を持ってしまいそうですが、神様と共に地球をすっぽりと包む空におられ、私たちをいつも見守ってくださっているのです。冊子「こじか」より勉強しました。

6月11日

出席者 山田蓮くん

ヨハネによる福音 3 章 16 節から 18 節を聖書からひらき音読しました。

三位一体の主日について冊子「こじか」の林正人神父様の書かれている文章より勉強しました。天のお父さんが私たちにプレゼントしてくれたイエス様を、私たちが信じて聖霊が私たちの心の中ではたらいていると信じるなら、そのプレゼントに込められている、神様ご自身と、私たちはひとつになれる。プレゼントした方、プレゼント、すべてのプレゼントをもらった人たちがひとつになれるように。最後に主の祈りを唱えました。

※ 来月は例年通り7月23日に『教会学校ファミリーキャンプ』を予定しています。大人も子どもも笑顔いっぱい暑さを吹き飛ばす一日にしましょう！

ご参加とご協力おまちしてま〜す\(^_)(^_)/

折尾地区 西山寿美枝さんの短歌

はやぶさは7年かけて地球へと
イオンエンジンでイトカワ帰る

老いゆくは滅びのはじまり
身近の整理はじむる水無月の夜を

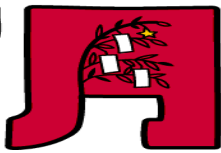
如何なる世子供減少の末末をば
思いめぐらすこれも時流か

雨の中驚の一羽がわが前を
悠然と舞う白きつばさで

伐採で生活権を奪われし
虫らの連鎖人間にも来む

カタバミの花の白き群れてく
墓のめぐりの坂をのぼりぬ

全国の子供が少なく犬猫の
数が多しとテレビの報ず



★特別献金★

5月21日 広報の日献金
16,550円
ご協力、ありがとうございました。

★大人の日曜学校★

日 時：7月9日(日) ミサ後
テーマ等、詳しいことは日曜日のお知らせをご覧ください。

★ファミリーキャンプ★

日 時：7月23日(日) ミサ後
教会で昼食を食べた後、桃園のプラネタリウムに行きます。昼食は教会で用意します。
たくさんのお子様の参加をお待ちしています。大人の参加も大歓迎です。参加される方は名簿に記入してください。

★聖母幼稚園 夏祭り(納涼祭)★

日 時：7月15日(土) 17:00~19:30
園児と信徒のふれあいの場として、いろいろな催しを行います。教会としてカキ氷のお手伝いもします。是非、ご参加ください。詳しい内容は4面をご覧ください。



水巻聖母幼稚園から7月のお知らせ

いつも水巻聖母幼稚園へのお祈り・ご協力ありがとうございます。

園庭の夏野菜も元気に育ち、プール遊びで子ども達の歓声が響いています。幼稚園県道沿いの新しいマリア像にも喜んでお祈りする子ども達です。

☆「みんななかよく」

夏祭り 7月15日(土) 17時00分~19時30分

教会の皆様、地域の皆様、保護者の皆様とご一緒に、楽しい夏祭りになりますように、職員一同、心あわせて準備しています。ぜひお誘いあわせの上いらしてください！

☆相良敦子先生の講演会のお知らせ

「北九州西部地区 第127回育児研究会ご案内」

日 時 7月19日(水) 19時~20時30分

テーマ 『生命の法則と乳児教育』~モンテッソーリ教育が証すもの~

講 師 元滋賀大学 教育学部 教授 相良敦子

場 所 福岡水巻看護助産学校 4階講堂

貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。7月10日(月)までに幼稚園に申込み下さい。

園長 Sr.松川明子 職員一同